

## かわしんの環境関連商品

### カーライフプラン・エコ

お取扱期間：平成27年7月1日(水)～平成28年3月31日(木)

かわしんは環境保護を応援します

**本金利プラン基準金利 年2.48%**  
(変動金利) 保証料込み

**年1.9%**  
(変動金利) 保証料込み

※電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、低燃費かつ低排出ガス認定自動車等、自動車重量税、自動車取得税が減免される新車購入が対象となります。

#### カーライフプラン・エコの対象となる方

- ご利用いただける方
  - 当金庫のカードローンをご契約中の方(同時申込可)
  - 当金庫の住宅ローンをご利用の方
  - しんきんカード(VISA・JCB)決済口座をご契約中の方(同時申込可)
  - 5大公共料金(2種類以上)引落し契約のある方(同時申込可)
  - 当金庫で給与振込・年金受取のいずれかご利用中の方(同時申込可)
  - 「パパ・ママ優待カード」所持者
  - ※いずれか一つでも該当する方
- ご融資金額 10万円以上500万円以内(1万円単位)
- ご融資期間 3ヶ月以上10年以内
- お使いみち
  - 自動車購入・二輪車購入(ただし、営業用車を除く)
  - 車検、修理、運転免許取得資金等、および同資金使途の旧債返済資金で当金庫より支払先への振込ができるもの
- ご返済方法 毎月元金または元利均等返済、ボーナス併用返済もできます。ただし、ボーナス返済部分の元金は、ご融資額の50%までとします
- 保証人・担保 一般社団法人しんきん保証基金が保証しますので必要ありません
- その他
  - 年2回、当金庫所定基準金利を基に金利見直しを行います
  - お申し込みの際には、事前の審査をさせていただきます。結果においては、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください

### かわしんISO関連特別融資

- ご利用いただける方…当金庫と継続して6ヶ月以上与信取引がある方
- ご融資金額…1,000万円以内
- ご融資期間…運転資金5年以内(据置6ヶ月以内)  
設備資金7年以内(据置12ヶ月以内)
- お使いみち…ISO9001及び14001に係わる運転及び設備資金
- ご返済方法…元金均等分割返済 利息先取
- 保証人…代表者は連帯保証人
- 担保…原則不要であるが、一部協議により必要となる場合があります
- 金利…変動金利扱い基準金利は長ブラ+0.7%とします

### その他の環境関連融資

- 環境みらい資金(県制度資金)…公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等
- 安心リフォームプラン「一家団楽(だんらん)」

ローンの詳しい内容、または現在のご融資利率やご返済の試算については当金庫の本支店、またはローンセンターにお問い合わせください。

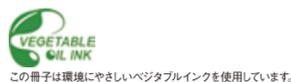
新本店 平成28年夏に竣工し  
秋頃オープン予定です。



川口中央支店 平成28年4月に新築移転オープン予定です。



移転先住所/川口市中青木5-9-4



この冊子は環境にやさしいベジタブルインクを使用しています。

**川口信用金庫**  
<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号  
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665



ISO 14001  
JQA-EM 4039

本部及び本店営業部

**川口信用金庫**



JQA-EM 4039

本部及び本店営業部



# かわしんの 環境活動報告書

第9号

平成27年11月発行



国立競技場の聖火台が川口でつくられたことはよく知られています。震災被災地へ貸し出されて、復興のシンボルとなる炎をともしました。

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。



みなさんこんにちは

日頃より川口信用金庫をご利用ご愛顧いただき誠にありがとうございます。

当金庫は地域の皆様方の長年にわたるご支援により、ここまで歩んでこられたものと深く感謝申し上げますとともに、これからも役職員一丸となって100周年に向かって邁進していく所存であります。

さて、今年の夏も猛暑に見舞われ、また昨年同様に各地で局地的な集中豪雨が起り大被害となりました。

被害に遭われた皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

当金庫は平成16年5月に国際的環境基準である「ISO14001」を取得以来、社会的責任の一つとして毎年CO2削減を掲げ「環境にやさしい“かわしん”」として、今日まで電力削減をはじめ廃棄物や紙の使用削減にも力を入れて取組んで参りました。

このような環境のなか、本店建替建設において環境への配慮を考慮し、「LED」や「太陽光発電」などを取入れ、また、地球温暖化防止活動として埼玉県と川口市が推進している「エコライフDAY」へ全部署の職員の参加による省エネルギーの取組、埼玉県が主催する「みどりと川の再生」を応援する植樹への参加、また、「環境クリーン定期預金」による埼玉県の「彩の国みどりの基金」への寄付などにより県内の森林や河川の再生環境保全に貢献しております。

これからも地域の皆様とともに省エネ・エコの実現をさらに発展させ、地球温暖化防止活動、CO2削減等の環境活動に取組んで参りますので、今後とも皆様のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月  
 会長 山口泰男  
 理事長 日下義章

## 環境方針

### I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

### II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・環境目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、及び福祉・環境を大切にす地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

## 平成27年度環境目標

### I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1. 電力の使用量  
電力使用量を1.07%削減する(21年度比)
2. 廃棄物の分別と排出  
廃棄物の分別を推進するとともに、物件費を1.07%削減し、排出量の削減を図る(21年度比)
3. 紙の使用・廃棄  
紙費用を1.07%削減する(21年度比)

### II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1. 既存の環境関連金融商品の拡販
2. 新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3. O A 機器の効率的活用
4. コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5. 顧客へのISO普及・支援
6. 各種地域貢献活動の立案及び実行
7. 環境関連のその他サービスの提供



川口生まれの聖火台、東北にとせず「震災復興のシンボル」の炎

1964(昭和39)年、アジアで初めてとなる夏季オリンピックが東京で開かれました。全世界が注目する中でともされた聖火は日本の戦後復興のシンボルとなる希望の炎でした。国立競技場の聖火台が川口市でつくられたことはよく知られています。鋳物師・鈴木萬之助・文吾さん親子の手によるものです。

今年6月、国立競技場から宮城県石巻市へ貸し出された聖火台の除幕式が行われ、聖火台に火がともされました。燃え上がった炎は「震災復興のシンボル」となっています。

聖火台は希望する東北の被災地を巡回し、新国立競技場に戻す案もあるそうです。

H15.9.1	「環境管理室」設置	H21.5.19	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付	H23.1.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第10次募集)	H24.7.20	埼玉県エコライフデー(夏のキャンペーン)への参加	H26.2.3	かわしん環境クリーン定期預金発売(第16次募集)
H15.9.12	第1回コンサルティング開発	H21.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付	H23.1.23	川口市エコライフデー参加	H24.9.15-16	川口エコチャレンジプロジェクト省力・省エネ運搬器具製作協賛	H26.5.30	彩の国みどりの基金へ寄付
H15.12.3	かわしんISO関連特別融資の発売開始	H21.7.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第5次募集)	H23.2.27	埼玉県みどり再生課主催記念植樹参加(県立狭山自然公園)	H26.6.8	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H26.6.8	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加
H16.5.28	ISO認証取得(H16.5.28~H19.5.27)	H21.11.10	かわしん環境クリーン定期預金発売(第6次募集)	H23.5.18	彩の国みどりの基金へ寄付	H24.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第13次募集)	H26.7.24	彩の国みどりの基金植樹寄付(吉見町・衛生研究所)
H17.6.21	クールビズ開始(以降毎年6月~9月実施)	H21.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.3発行	H23.6.12	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H24.11.16	かわしん環境活動報告書Vol.6発行	H26.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第17次募集)
H17.11.1	ウォームビズ開始(以降毎年11月~3月実施)	H22.2.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第7次募集)	H23.8.5	鳩ヶ谷市里小学校校庭にて緑化推進事業として植樹	H25.1.20	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加	H26.11.19	かわしん環境活動報告書Vol.8発行
H19.2.13	ISO更新審査(H19.5.28~H22.5.27)	H22.3.10	ISO更新審査(H22.5.28~H25.5.27)	H23.10.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第11次募集)	H25.2.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第14次募集)	H26.12.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第18次募集)
H19.7.2	かわしん環境クリーン定期預金発売(第1次募集)	H22.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付	H23.10.11	かわしん環境活動報告書Vol.5発行	H25.2.9	さいたま緑のトラスト保全第5号地への保全作業参加(宮代町)	H27.1.18	川口市エコライフデー2014(冬)及びチャレンジエコライフ参加
H19.10.1	かわしん環境活動報告書Vol.1発行	H22.6.13	川口市エコライフデー参加	H23.11.18	かわしん環境クリーン定期預金発売(第12次募集)	H25.5.13	彩の国みどりの基金へ寄付	H27.5.18	彩の国みどりの基金へ寄付
H19.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第2次募集)	H22.6.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第8次募集)	H23.12.15	エコ通勤優良事業所として認証登録	H25.6.9	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H27.6.14	川口市エコライフデー2015参加
H20.6.9	「チーム・マイナス6%」運動への参加	H22.11.15	かわしん環境活動報告書Vol.4発行	H24.2.29	「環境管理室」から「社会貢献課」へ組織変更	H25.7.19	かわしん環境クリーン定期預金発売(第15次募集)	H27.6.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第19次募集)
H20.6.24	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付	H22.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.4発行	H24.4.2	「環境管理室」から「社会貢献課」へ組織変更	H25.10.30	国土交通省から「都市緑化功労者表彰」受賞		
H20.7.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第3次募集)	H22.12.16	彩の国みどりのサポーターズクラブ入会	H24.5.14	彩の国みどりの基金へ寄付	H25.11.26	かわしん環境活動報告書Vol.7発行		
H20.11.11	かわしん環境活動報告書Vol.2発行	H22.12.20	埼玉県植樹エントリ制度(一人1本植樹運動)へ参加	H24.5.20	埼玉県緑化推進委員会主催植樹祭参加(春日部市)	H26.1.19	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加		

# 環境負荷を低減する建設工事 本店建て替え工事に取り組んでいます

2015  
ECO DATA

かわしんの本店建て替え工事が進んでいます。建設現場では大勢の作業員のみなさんが働き、クレーンなどの大型建設機械が動いています。さて、建設現場では環境負荷を低減するために、どんな取り組みが進んでいるのでしょうか。エネルギーや資源の消費削減や有効活用の取り組みを紹介します。



低騒音、低振動型重機を使用するなど、周辺環境と安全に十分配慮しています（平成27年9月）



建設現場は川口駅に近く、作業員のみなさんは「エコ通勤」に努めています（平成27年10月）



現場では工事の予定を掲示するなどして、情報公開にも努めています（平成27年9月）

## 変わり始めた建設現場。朝夕の通勤でもエコな取り組みが進んでいます。

朝、本店建て替え工事の現場には作業員のみなさんが出勤してきます。現場はJR川口駅からすぐ、そごう川口店の東側にあります。みると、駅から徒歩で現場へ向かう姿が少なくありません。作業で服が汚れてもそのまま帰れ

るように、荷物を持つ負担を少しでも軽減するように車で通勤しているとはばかり思っていました。どうやら様子が違うようです。そこで、建設を請け負っている埼玉建興・川口土木建築工業特定建設共同企業体の作業所長、市岡隆弘さんに話を伺いました。

「現場によってはどうしても車でないと通勤できないこともありますが、ここは駅から近いですからエコ通勤の取り組

みを積極的に進めています。電車やバスを利用している者も多く、車を利用する場合は相乗りです。ちなみに私は自転車通勤しています」

エコ通勤は、通勤手段をマイカーから自転車や徒歩、電車やバスなどの公共交通機関へ切り替えることです。国土交通省の調査によれば、エコ通勤によって約1割の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減効果が期待でき、全国で本格的な普及が始まっています。エコ通勤は有効な地球温暖化防止対策で、みなさんも実践できる取り組みです。

## 現場での環境対策は地道なもの。積み重ねがやがて大きな成果につながります。

建設現場では現在、躯体工事が進んでいます。1日の作業員数は30人程度ですが、やがて内装工事などが始まると1日に100人以上が現場で働くようになり、工事期間中の延べ人数は2~3万人規模になるそうです。

では、これだけの人がエコ通勤に取り組んだら、一体どれだけの削減効果があるのでしょうか。国土交通省が公開している「エコ通勤の手引き」を参考に試算してみます。

車利用の通勤者1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量を2.3kg/L（原単位）として、日本の通勤距離（往復）の平均と一般的な平均燃費から計算すると、排出量は約111~166トンにもなります。これは、スギの木7881~1万1786本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当します。

建設工事に伴って排出されるCO<sub>2</sub>量は国内の総排出量の10%を占めています。低炭素社会実現に向けた取り組みについて、市岡さんはこう言います。

「地球温暖化対策は建設業界にとっても重要な課題です。この現場でもエコ通勤に努めるだけでなく、資材搬出搬入車両へのアイドリングストップ活動の推進、低燃費型建設機械の導入や省燃費運転の指導、適正整備の取行などを行っています。そのほか作業所の節電や休憩施設の冷暖房温度についても管理して対策に努めています」

聞けば、建設工事に携わるのは協力会社を含めて100社以上になるとか。現場全体で取り組みを進めるために、朝礼や作業打ち合わせなどの機会を活用して、環境意識の醸成や教育、取り組みの徹底を図っているそうです。市岡さんはこう話します。

「現場では、作業に追われることが少なくありません。だからこそ、現場での環境対策には一人一人が変えていこうという意識を持つことが大事になりま

す。地道な対策を、たとえ少しずつでも積み重ねていくことが大きな成果につながると思っています」

## 建て替え工事の廃棄物は約130トン。徹底した分別で再資源化に努めています。

国土交通省と環境省の調査によると、平成24年度の建設廃棄物は約7269万トンにもなり、国内で排出される産業廃棄物の約2割を占めています。そのうち再生・再利用できず埋め立て処分する廃棄物量は年間約290万トンという膨大な量になっています。

では、本店建て替え工事に伴って排出される廃棄物はどの程度見込まれ、どう処分されているのでしょうか。

現場から排出される廃棄物はコンクリートがらやアスファルトがら、木くず、プラスチック、石膏ボード、紙くずなどで、その量は全体で約130トンと見込まれています。驚いたのは紙くずが全体のおよそ1割を占め、約13トンにもなる

ことです。これは外装材や内装材、設備機器などの梱包材です。また、外装材などには複合的に素材を組み合わせたものも多く、分別できないものも少なくありません。市岡さんはこう言います。

「廃棄物はどうしても発生します。しかし、現場では廃棄物の発生を抑制し、再使用にも努めています。混合したまま廃棄すればごみですが、分別すれば再生や再資源化できるものも少なくありません。例えば、コンクリートがらは細かく破碎して再生砕石になり、別の現場で再利用されています」

## 竣工は平成28年夏。地域の環境と安全に十分配慮して工事を進めています。

建て替え工事現場は繁華街で、車や歩行者が頻繁に行き交います。工事には低騒音、低振動型の重機を使うなど地域の環境と安全に十分配慮して進めています。ご理解をお願いします。



新本店の完成予想図です。地上10階建て、高さ47mの規模になります

## かわしんはエコ通勤率100%。スタートは昭和54年です

国土交通省などでつくる「公共交通利用推進等マネジメント協議会」は、エコ通勤に積極的に取り組む企業や自治体を優良事業所として認定する制度を平成21年に創設しました。今年10月末までに認定登録されている事業所は全国で647に上ります。このうち県内の認定数は68です。かわしんは平成24年に本店、支店を合わせて45の事業所を登録しており、民間事業所としては県内初のことでした。

かわしんのエコ通勤の歴史は古く、スタートしたのは昭和54年です。第2次オイルショックの年で、当初は石油消費削減と通勤時の交通事故防止を目的にマイカー通勤を原則として禁止しました。以来、現在でもエコ通勤率は100%を誇っています。



かわしんはエコ通勤を35年以上続けてきました

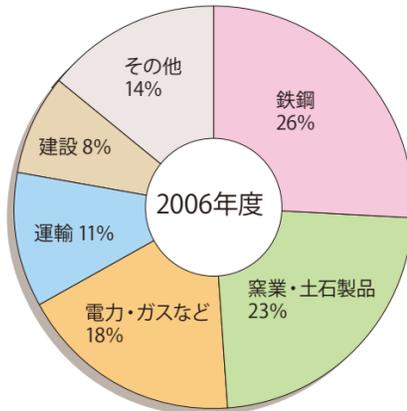
## データでみる建設工事と温暖化

建設工事に伴って排出される二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) は国内総排出量の10%を占めています。そのうち建設工事から直接排出されるのは1%。残りが建設資材の生産や輸送などの過程で発生しています。日本建設業連合会は直接排出されるCO<sub>2</sub>量について、自主的な削減目標を掲げています。

連合会は、東京オリンピックが開催される2020年までにCO<sub>2</sub>排出量を1990年比で20%削減するとし、低燃費型の建設機械導入や省燃費運転を推進しているほか、バイオディーゼル燃料の活用、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの活用などを進めています。連合会がまとめた2014年の削減実績は1990年比17.8%でした。

また、国内の産業廃棄物のうち約20%が建設現場から排出されています。しかし、建設に伴う廃棄物はリサイクルの優等生で90%以上が再資源化され、再利用されています。建設現場ではこのほかにも端材発生の抑制や梱包資材の簡略などを推進することで、廃棄物の発生そのものを抑制する取り組みも進んでいます。

●建設業の「生産誘発効果」によるCO<sub>2</sub>排出量の内訳



※資源エネルギー庁「総合エネルギー統計エネルギーバランス表」、国立環境研究所「環境負荷原単位データブック」、経済産業省「簡易延長産業連関表」による推計 (日本建設業連合会)

# 来夏の竣工に向けて、環境負荷低減に努めます

低炭素社会の実現に向けて最新の省エネルギー技術や環境に配慮した設計手法などを生かした建物やまちづくりが注目されています。環境性能に優れたエコ住宅の人気が高まっているほか、再生可能エネルギーを活用するなどして街全体でエネルギー自給を目指すスマートタウンも誕生しています。

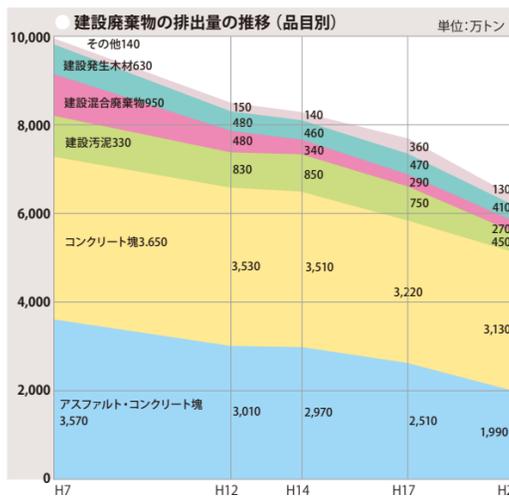
建設における環境への配慮は、ややもすると完成した建物の設計手法や機能が注目されますが、建設工事段階での取り組みも決して見逃せません。かわしん本店の建て替え工事ではエコ通勤や廃棄物の再資源化、建設機械の省エネ運転などが積極的に取り組まれていました。今、地上建物の建設工事が本格化しています。平成28年の夏の竣工を目指して、これからも環境負荷低減に努めてまいります。



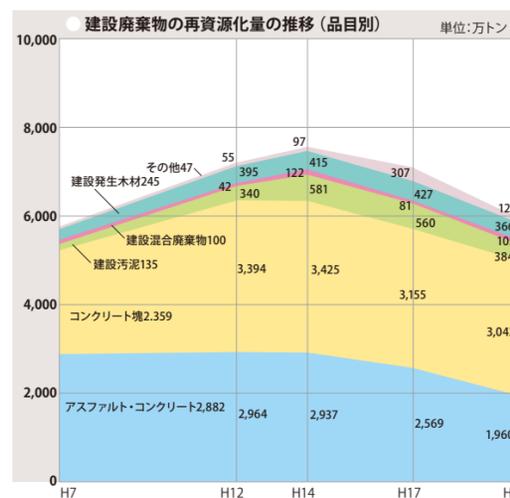
※建設工事の規模 (施工高) あたりの原単位 (t-CO<sub>2</sub>/億円) の削減率  
※日本建設業連合会まとめ



※日本建設業連合会まとめ



※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」



※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」

### ■本店建て替え工事状況



▲建物の地上部分の解体が終了 (H26.10.6)



▲液状化対策と地盤改良。地下深くまで砂を注入する (26.10.29)



▲地鎮祭で工事の安全を祈願 (26.11.13)



▲新築工事開始。基礎工事の杭打ち (27.2.10)



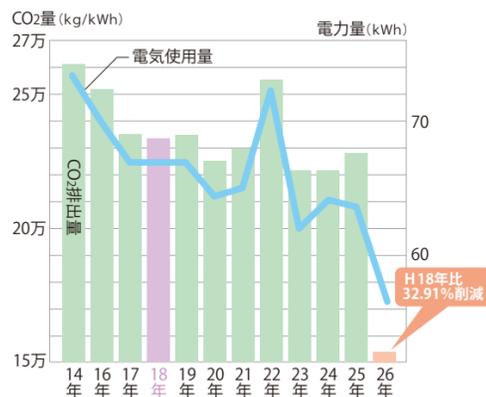
▲基礎の杭の上部に設置された免震装置 (27.9.11)



▲3階の床まで鉄骨が完成 (27.10.30)

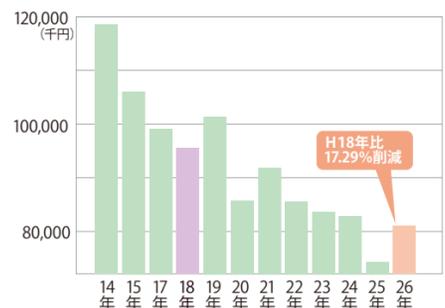
## 電力とCO2排出量の削減

平成25年度から基準年度を「平成18年度」とし、より厳しい目標に向かっていきます。電力使用量は44万7071kWhで、前年と比較して29.99%削減しました。基準年度比では削減率△32.91%となり、目標を達成しました。



## 紙の使用

平成25年度から基準年度を「平成18年度」とし、廃棄物全体のうち「紙の使用量」と「排出量」に注目しました。基準年度比で1676万8000円を削減。17.29%の削減率を達成し、目標(△3.8%)を大きく上回りました。



## エネルギー削減の取り組み

上尾支店は太陽光発電システムを設置して、ロビーの照明や空調に利用しています。発電量は季節や天候に左右されますが、同支店の月間電力使用量の30~40%を賄うことができます。

また、本店や他の支店では消費電力が少なく、長寿命のLED照明や省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用するなど省エネに努めています。

集中式エアコンを順次廃止し、分散型エアコンに切り替えているほか、クールビズとウォームビズの実施、OA機器の効率的な活用や営業室内の不要な照明の消灯などに取り組んでいます。

■上尾支店の電気量の推移(単位: kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽光発電分	1,678	1,414	2,284	2,593	2,923	2,032	2,384	2,064	1,991	1,596	1,185	1,362
通常分	2,904	3,372	2,874	1,948	1,407	1,951	2,107	2,574	2,754	1,956	2,307	2,729
計	4,582	4,786	5,158	4,541	4,330	3,983	4,491	4,638	4,745	3,552	3,492	4,091

## 廃棄物の削減

平成25年度から基準年度を「平成18年度」としました。事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全体量を把握しています。基準年度費△3.8%の目標に対して△4.06%を達成。529万円削減しました。



## 保管文書の廃棄

保管期限を過ぎた大量の文書は、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理しています。この処理方法は、紙を断裁せず繊維がそのまま残るためリサイクルしやすいのが利点で、トイレットペーパーに再生しています。平成26年度は43万ロールを再生しました。

実施年度	廃棄文書重量 (トン)	再生トイレットペーパー 個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個
H20年	40	40万個
H21年	52	52万個
H22年	40	40万個
H23年	39	39万個
H24年	60	60万個
H25年	70	70万個
H26年	43	43万個



本店や全支店の照明に高効率反射板「レフボ」を設置しました(鳩ヶ谷支店)



上尾支店の屋上に設置された太陽光発電パネル。ロビーの照明や空調に利用しています

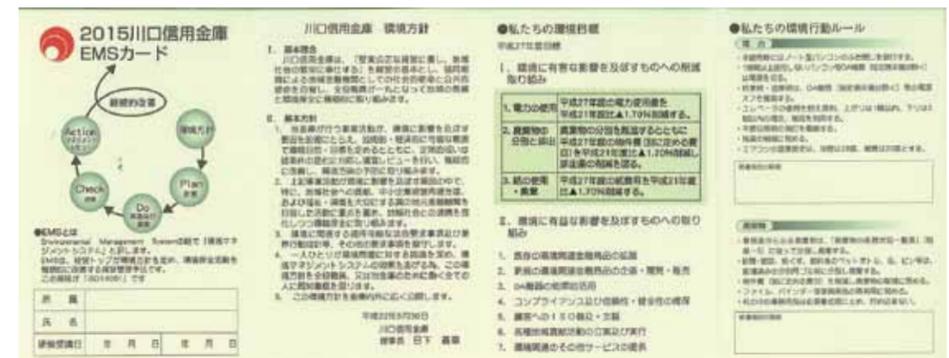
## 全役職員が一丸となって

理事長を最高責任者とする体制の中で、環境マネジメントを推進し、本部総務部に社会貢献課を設置しています。環境管理委員会には環境担当役員、本部長及び本店営業部長が参画し、社会貢献課が事務局機能を果たしています。環境管理委員会は、「環境方針」に則った「環境目標」を毎年決定し、本店及び支店の環境の取り組みを総合的にマネジメントしています。

また、平成16年には国際的標準化機構(ISO)が定めるISO14001の認証を取得。理事長や担当役員が、その進捗状況を定期的にレビューし、PDCA(PLAN-DO-CHECK-ACT)のサイクルで、全体的な環境マネジメントを推進しています。

## 環境意識の啓発と高揚

全職員は環境マネジメントシステム(EMS)カードを携帯しています。そこには、かわしんが掲げる「環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」が記載されています。



職員一人一人が「環境方針」や「環境目標」を自覚し、日頃から意識向上に努めています

## 職員へ向けた環境教育の実施

本部、本店営業部への異動者、および新入職員とパート職員を対象にした環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に展開することで、職員が環境についての知識を学び、環境意識を向上させます。



ISO14001の研修会。環境管理システムへの理解を深めます

## 「Fun to Share」に参加しています

政府がこれまで進めてきた地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25キャンペーン」が、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に生まれ変わりました。かわしんはこの運動に当初から参加しており、引き続き参画して低炭素社会の実現を目指します。



「Fun to Share」はさまざまな地域や団体、企業が生み出す技術や取り組みなどの最新の知恵を楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくらうという合言葉。シェアした知恵を活用して、低炭素アクションを実践します。

## 販促品でも環境意識の啓発

セールスプロモーションにも環境の視点を採り入れ、消費者の目線からも環境意識の啓発に努めています。さとうきびを原料にしたポケットティッシュやキッチンペーパー、焼却してもダイオキシンを排出しない素材を使った生ごみ処理袋などを採用しました。



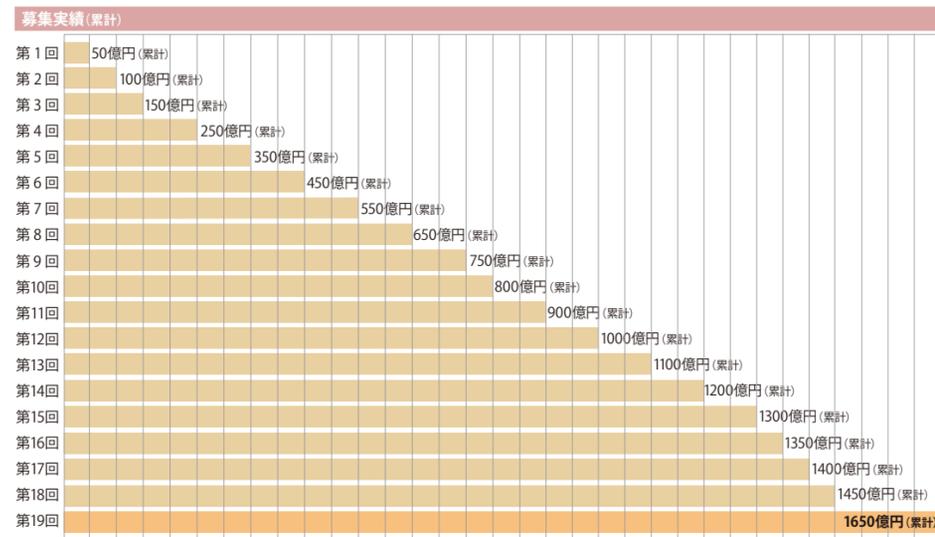
環境に配慮した製品を採用して、環境意識の啓発に努めています

お客さまから満足、安心、信頼を得られる金融商品やサービスを提供することが、かわしんの基本です。全職員がお客さまの声を傾け、お客さまと共に環境負荷低減に向かうことを心がけています。

### 環境クリーン定期預金

環境クリーン定期預金は、募集達成総額の一定割合に相当する額をかわしんが負担し、環境保護のために寄付するものです。第18次(平成26年12月)、第19次(平成27年6月)の募集を行いました。

環境関連商品によって環境保護活動を経済的に支援するだけでなく、募集パンフレットに「さいたま緑のトラスト写真コンクール」の入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通じて環境保護団体との連携も深めています。



### エコライフを支援するリフォーム・住宅のローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など、太陽光発電設備設置、もしくはエコ仕様設備設置、耐農工事などリフォーム(増改築・修繕)資金、バリアフリーリフォーム資金の取扱いをしております。



### 環境関連の融資やローン

ISO9001やISO14001の認証取得を支援する特別融資を企画・開発しました。取得に係わる運転資金や設備資金などにご利用いただけます。また、エコカー購入などに利用できる変動金利型のカーライフプラン・エコカー資金も好評です。



### 川口市から始まったエコライフDAY かわしん419人で455kgのCO2を削減

エコライフDAYをご存知ですか。地球温暖化防止のために年に1日、二酸化炭素(CO2)削減にチャレンジしようというものです。簡単なチェックシート(1日版環境家計簿)に従って生活の中でできる環境への配慮を点検・実践し、その成果をCO2の削減量としてまとめます。この取り組みは2000年に川口市で始まり、今や全国に広がっています。

かわしんが初めてエコライフDAYに参加したのは2010年のことです。今年は6月に行われ、かわしんは職員419人で参加しました。CO2削減量は45万5084gにもなりました。川口市全体の参加者数は10万人を超え、この日削減したCO2量はなんと1億709万6917gにもなりました。



認定NPO法人川口市市民環境会議のHP  
<http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife/>



エコライフDAY埼玉(埼玉県)のHP  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/>



「CO2削減認定証」をいただきました

### 地域社会との連携を生かして

環境保全や自然保護の活動を支援する環境関連の商品やサービスを通して、埼玉県をはじめさまざまな団体との協力関係が深まっています。

そのつながりを生かして、埼玉県と公益財団法人さいたま緑のトラスト協会が主催する写真コンクールの入賞作品をカレンダーに毎年採用しています。

カレンダーは2万7000部を作成しました。お客さまへ配布することで緑のトラスト運動を支援し、身近に残る貴重な自然環境への関心を高め、保全・保護する必要性を訴えました。

2016年版には「身近な緑の部」の最優秀賞作品「自然の中でカヌー体験」を採用しました。3人は親子でしょうか。とても楽しそうなようです。



### 埼玉県の「みどりと川の再生」を応援

環境クリーン定期預金を通じて、彩の国みどりの基金へ毎年寄付を行い、埼玉県が推進する「みどりと川の再生」事業を積極的に応援しています。

今年は5月18日に、埼玉県庁を訪れて300万円を寄付しました。



感謝状を手に上田清司知事を囲んで。左から日下理事長、知事、野本部長



感謝状と記念品をいただきました

かわしんが環境に対して何を考え、何をしようとしているのかを地域社会へ伝え、地域のみなさんがかわしんへ何を望んでいるのかを知ること。地域社会とのコミュニケーションを進めています。